ヒッグス粒子精査プロジェクト

- 宇宙年齢 10-10 秒: 真空の相転移 (ヒッグス場凝縮)、 素粒子の質量獲得
- ♣ ヒッグス粒子の精査: ヒッグス粒子の数、暗黒粒子への崩壊、自己結合⇒ 質量起源の解明、 暗黒物質の直接探査

標準理論を超える物理への足掛かり、 素粒子理論の原理の検証:ゲージ対称性・くりこみ

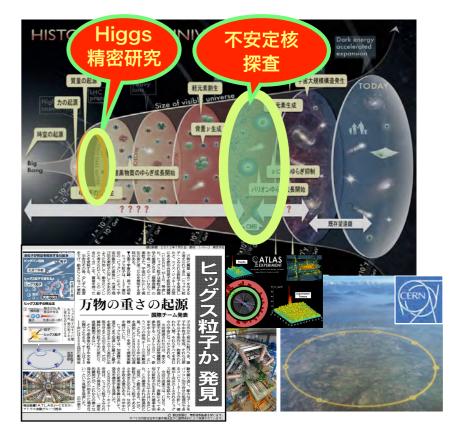
₩ 超対称粒子、余剰次元などの探索 => 力の起源、時空の起源

☆ CERN/LHC ATLAS実験による先端素粒子物理学

シリコン・マイクロストリップ・センサーを用いた高精度飛跡検出器の開発・建設

筑波大: CERN/ATLAS実験を推進

日本学術会議マスタープラン大型研究計画(2014, 2017)



太陽系における元素存在比 100 (N) 80 (N) 80 (N) 80 (N) 80 (N) 90 (

RIKEN/RIBF

不安定核探査プロジェクト

★ 宇宙に存在する重元素の起源:

最初の星・銀河誕生(130億年前)以降の超新星爆発 + 中性子星合体など <= 不安定核の反応プロセス (r-process, s-process) の解明が鍵

★ 重イオン加速器による不安定核探査とその反応の研究

理研RIビームファクトリー(RIBF)の「稀少RIリング」で不安定核の質量/寿命測定

=> 第一段階: N≈50 ピークの起源の解明、第二段階: N≈82、第三段階: N≈126

筑波大: RIKEN/RIBF実験を推進

日本学術会議マスタープラン大型研究計画(2014, 2017)